



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Share Rotary-

みんなにロータリーを

Serve People

みんなに奉仕を

1983~84 R.I 会長 ウィリアム E. スケルトン
長谷川会長 クラブターゲット 青少年の心にロータリーのほほえみを

第 255 回 例会 58 年 7 月 21 日 第 260 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
48 名	44 名	93.62%	97.87%

欠席者

細野、三浦、寺田 (病欠承認者 1 名)

本日のプログラム 7 月 28 日
卓話「記念切手のはなし」 古木勝治君

次週予定 8 月 4 日
卓話「防災について」ゲストスピーカー 大和市消防本部

司会 SAA 土屋翁三君
ソングリーダー 上村幹雄君
「奉仕の理想」

ビジター

堀 健一君、池田升雄君 (横浜瀬谷)、足立亀久雄君、山下恵代君 (座間)、古谷忠治君、青木一俊君、野口栄三郎君、田崎市松君、山本壮兵衛君、牧岡良和君、加藤恒夫君、山崎善三郎君 (大和)、橋本理吉君、曾根徳次君、佐藤敬君 (大和田園)

会長報告

会長

長谷川 清一君

蜂屋良平会員より、6月30日付で寺田前会長まで提出されておりました退会届につきまして、7月14日の例会後、理事、役員会においてご審議頂き申出の通り退会が承認されました。

現在の会員数は48名でご座居ます。早速ですが会員の増強に向け皆様のご活動をお願いします。

足立座間RC幹事挨拶

皆さん今日は、座間クラブ幹事の足立です。

本当はもう少し早く挨拶に伺う予定でしたが新年度早々がバナー公式訪問やその他色々忙しくのびのびになり誠に申訳ご座居ませんでした。

今年度一年間どうぞよろしくお願ひします。

幹事報告

幹事

古木 勝治君

①クラブ細則。慶弔規程。本年度は改正事項はなく前年度のものを引継ぎます。

②地区大会。大和田園RCチャーターナイトを兼ねて行われます。全員の出席をお願いします。

③例会変更。8月11日を8月15日に変更し、3クラブ合同の納涼例会とします。場所は厚木基地の将校クラブです。詳しくは、後日ご案内します。

④理事会、役員会。7月28日例会後に行います。

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：長谷川 清一
会長イレクト：猪 熊 唯 夫
副会長：上 田 利 久
幹事：古 木 勝 治
会報委員：杉山・福本・菊池・三浦

クラブフォーラム

上田クラブ奉仕担当理事

皆さん今日は、本年度のクラブ奉仕を担当させて頂くことになりました。申すまでもなく、私独りで頑張ってみたところで、1つの歯車を懸命に廻し続けてみたところで、何にも出来ませんし、なによりも面白くもありません。皆さんと一緒に廻し続けるところに意味もあり、楽しさも出てくるものと信じています。どうぞ、この1年間よろしくご協力下さい。

先日は、クラブ協議会に多くの方がご出席して頂き、積極的な発言をありがとうございました。それぞれの委員会が、その守備範囲をよく理解した上で“やってくれる”といった気分であったこと、うれしく思っています。ところが、1人だけ守備範囲を間違えた奴がいます。かく言う私ですが、クラブ計画書の流れに添って、ついSAAをクラブ奉仕活動の一部であるが如きに扱ってしまいました。SAAの土屋さん、何に食わぬ顔で、対応して下さいと感謝し、訂正をいたします。前置きはこの位にして、本日のクラブフォーラムに入りましょう。

本年度会長方針に含まれておりますように、会員相互の親睦をはかり、というところに重点をしばり「皆のクラブ」にするには、過去5年間の実績の上に、なにを積み上げていったら良いのかについて考えて行きたいと思えます。その様な発想力の「希望の箱」に皆さんの、ご意見を投函して頂きました。初めてのことで、多少遠慮された方もあったようで、実際に声を寄せて頂いたのは10名余であります。ロータリー全般に亘るものから、具体的なご希望まで多岐に亘っています。1人で幾つものご意見を述べて下さった方もいますが、私の独断で項目別に編集させて頂きました。ところで、もしかしたらこれらの意見は、当クラブとして片寄った意見であるかも知れません。そ

こで、そうでは無いということを裏付けるためにロータリーの友ロータリーあれこれ等から第三者的意見を引用し、これ等を併せて提起してみたいと思います。従って言い換えてみれば、大和中RCの希望ではありますが、即ち日本のRCの代表的な見解とさえ言うことが出来ます。私達クラブの仲間は申すに及ばず、地区、分区等ロータリーの指導的立場にある方々にも、すでにご理解は頂いているとは思いますが、より一層の認識を頂ければと願っております。さて本編に入る前に、本日のフォーラムは、クラブ奉仕という事になっていますが、アンケートの結果が他の奉仕部門を含め、ロータリー全般ということになってしまいました。念のためにご了承下さい。

クラブの自主性を大切にしよう

RIは管理運営上の目的でRCを掌握しているか、それぞれのクラブはRIと直結している。もっとクラブの自主性を大切にしよう。

ロータリーの組織の力に流されるな

地区または分区などというロータリーの組織にもを言わせ過ぎてはいないか。各クラブの考え方をハッキリさせよう。それぞれのクラブの力を集め、国際的に働くように、組織化されていることは理解出来るけれども、地区・分区と毛細管的組織化は、クラブ活動そのものをスポイルさせてしまっているのではないか。

参看的見解；ロータリーの友1981 7月号、横浜RC 菅井栄一郎

鉄のように固い組織よりも、一見だらしないように見える 人と人との心の結びつきを大切に、奉仕の実を挙げていると感じさせるよりは、老いも、若きも仲の良いクラブが最高である。まともな公式論より、ヘソ曲りの意見が多く出るのが楽しい。もっと、おおらかに呼びかけている。

例会を魅力あるものに出来ないか

例会をもっと創意と自主性のある、魅力的なものに出来ないものか。

例会が画一化しすぎてはいないか

毎週の例会が画一化し、形式的になり過ぎていくように思われる。プログラムの内容などによっては、臨機に應じそれぞれに対応して良いのではないか。それでこそSAAの存在価値が生かされると思うのであるが、如何なものであろうか。

クラブ例会をより充実したものにしよう

クラブ例会では、いつも決まった人だけが、時間を気にしながらしゃべっている。会員同志が自己研鑽をすとか、広く深く知り合いを広めるとか、ロータリアンとしてのあるべき姿を培うといった、内面的、教養的な向上を図る場として、全く生かされていないように思われる。おきまりの行事は簡素化し、会長、幹事、委員会報告などは「本日の報告その他」の紙面にゆずり、お祝いの人月1回にまとめるとか、合理化をはかり、その時間を、会員グループ毎の討論とか、会員が困ったりしている問題についての話し合いの場にするとか、出来ないものであろうか

参考的見解；ロータリーの友 1979 4月号

浜松南RC 諸川雅一

当クラブでは、例会30分前より順次来場される会員およびビジターの方に、食事をサービスしている。12時30分点鐘、12時40分諸事進行、卓話も30分と予定通り確保でき、例会出席も自然と早く、来場されるようになり良いことづくめである。

参考的見解；ロータリーの友 1980 12月号

戸畑東RCクラブ報告

効果的ニコニコ、マッサージ、例会5分前SAAの、始めましょうの合図で出席者全員が立ち上り、前の人の肩をもむ、1、2分毎に廻れ右してお返しをする。リラックスした気分で例会に入ることが出来、大変よろしいとの事。

参考的見解；ロータリーの理想と友愛

米山梅吉訳

THIS ROTARIAN AGE

PAUL P HARRIS

ロータリーの魅力とは何か、オーストラリアのロータリアン サー ヘンリー ブラッドンは言っている。ロータリーが個人を向上させる1つの方法は童心に帰ることであると。少年の人生を眺める目には汚れない、邪悪と僻見がない。あるものは強い意志と親しみで充たされている。歳月と共に童心を生かそうとするもの。これがすなわちロータリーであると。

ようするに「幼稚園ゴッコ」でよろしいということである。

フレッシュな考え方に耳を傾けよう

新しく入会した人達の、ロータリーに染っていない、新鮮な考え方に耳を傾けよう。インシェイションスピーチだけでは物足りない。発表の機会を設けよう。

卓話の時間を工夫しよう

卓話の時間も、30分たらずでは、ダイジェスト版の話になって、印象に残らない。場合によって時間の延長があって良いと思うし、30分に限定するならば、前の週に資料や卓話のポイントを予め会員各位に渡しておき、一寸した予備知識を持って例会に、のぞむようにすれば興味も自から湧いてくるように思うが、如何であろう。

卓話、拝聴するだけのものなのか

卓話の内容も、一方的に話を聞くだけのものではなしに、会員のグループ毎の討論（例会毎にテーマを設定して）とか、会員が頭を痛めている問題について、話し合いをすとか、の場としたい

参考的見解；ロータリーの友 1981 6月号

東金RC 瀧本義雄

楽しい例会は、自ら進んで参加することで実現出来る。時間は5分位として、テーマは何んでも良い。この時間にまとめ上げること。この例会での「一口卓話」を見たり、聞いたり、試したりしている間は、スピーチがこわくなること受け合っている。

出席、なるべく100%に近づこう

前年度は100%を切る場合が、何度かみられた。100%にこだわる訳ではないが、欠席者には、その方の推薦者を通して、うながすようにしてはどうだろう。

ロータリー学を勉強したい

ロータリーのことを勉強したい。関連図書をクラブとして購入して、例会後でも一寸、目を通せるような、コーナーを設けて欲しい。

ビジターの方の氏名に仮名(ローマ字)を

土地の名前、氏名などはそれぞれに正しく読むことは難かしい。ローマ字で添え書きをして貰うことにしたら、如何なるものであろうか。

〇〇会員と言う呼び方には心しよう

クラブ内で、お互の名前を〇〇会員と呼び合うことは、その背景に組織の力を感じさせるもので、余り快よい響きではない。

〇〇さんと呼ぶことにしてはどうだろう。

参考的見解；ロータリーの友1982 5月号

沼津口RC 望月良夫

あるクラブで、例会中係がメンバーの名前を呼ぶのに、〇〇会員とか、〇〇君と呼んでいることを耳にする。共産圏の会議での同志とか、ロータリー年次大会での〇〇君とか、セレモニーの時には致し方ないとして、例会の1時間はセレモニーではない。

親しみを増し、知り合を広める場所である、〇〇さんが自然でよい、と。

一方

(手続要覧P144 名を呼び合う習慣)

ロータリアンが、互いに相手の姓ではなく、名(first name)で呼び合うのは、単なる習慣である。

1931～32年度の理事会は、国際ロータリーの公式出版物には、ニックネームを使わないことに同意している。

IGF地区大会などの点鐘時には思いやりを

IGF地区大会など、土曜日の午後を利用してのロータリーの集いの場合、点鐘時間午後1時というのが慣例になっているように思われるが、せめて2時にしてほしい。

週休2日制の恵まれた人達は別として、土曜日午前中の仕事を済ませてから参加したいと思っている人も多い筈である。特に第一線で自からが卒先して働いている若いロータリアンを、本気で仲間にしたと考えているならば、地区・分区の役員は、心すべきことであると思う。

ロータリーを辞めたいと考える潜在意識のなかに、このようなことが隠されているかも知れないということを銘記してほしい。拡大を叫べ、以前の問題であると思う。

参考的見解；ロータリーの友1979 11月号

神戸須磨RC 秋野俊造

これでよいのかIGF。地区のIGFなどに出席して、ホスト・クラブの方々の異常なまでのご努力にもかかわらず、何か空なしい。

近頃のロータリーは、あまりにも形式化し過ぎではないか、華美に流れず、すべてを簡素化し本来のロータリーの心である暖かい運営、そして地味ではあるが、心をこめた地域の奉仕こそ必要と思うが。

委員長だけの委員会ではない

各委員会は委員長だけのものではない。活動計画を立て、いる、その時に委員の意見が述べられ、反映されるような企画が必要ではないか。

例会だけがロータリーではない

例会だけの出席を、ロータリーの出席と考えている人が多い。家族会・炉辺会合、ゴルフ会等、もっと多くの人に参加することが出来ないものか。

例会以外の集りのなかに、ロータリーを学び、親睦を深める機会があると思うが。

地域別、委員会別の炉辺会合の必要性については、すでに指摘されているところであり、是非実行

してほしい。

円卓会議を開いて、皆で考え皆で参加しよう

それぞれの委員会で、なにか具体的な活動を決定するに当たり、広く会員の「お智恵拝借」をしたいと考えた場合、予め予告した例会後の1時間前後をあて、都合のつく限り多くの会員の出席を求め、アイデアを出し合って貰う。

テーマは、各委員長から提出したものについて副会長が司会役を務める。そして只一つ約束事として「お互にやつつけ合うことだけはしない」と云うことを申し合せた上で、フォーラム形式で討論を進めて見たい。

いくつか出るであろう具体案のなかから、どれを探り上げるかはそれぞれの委員会にまかせ、その最後決定は、クラブ理事会にゆだねられるものであることは言うまでもない。

皆で考えれば、皆で参加することにつながるであろうことを期待したい。

参考的見解； 手続要覧 P 300

ロータリークラブ定款第6条第2節

クラブのあらゆる事項についての理事会での決定は、最終的なものである。もし決定事項を、変更しなければならないときは、全会員の $\frac{2}{3}$ の賛成投票が必要、とされている。

逆の見方をすれば、全会員の $\frac{2}{3}$ の意見を参考にし、事を決めるなら、常になごやかな気分でいける筈である。

参考的見解；ロータリーあれこれ 笹部 誠書
円卓会 P 77

大きなクラブでは、例会のみでは全員顔を合わせることが不可能で、親睦も保たれないと言うことで、例会とは別にRound Table Meetingを行なっている。

アメリカで盛んで、東京でも二三のクラブで続けられている。話題はなんでも自由であるが、たゞ仮になにかの意見に不賛成であっても、やり込めてはいけな、一言でもよいかから全員が発言す

するよう仕組まれている、と言うことである。

以上要約しますと、例会も含めて、ロータリーそのものゝ簡素化を求めると同時に、心の糧となるような仲間との出合を望んでいると言えましょう。

そのためには、地区から、分区から、そしてある時にはクラブの委員会の決定に、黙々として従って行く、これが正にいわゆる「奉仕の実践」かも知れませんが、もっと自主的に、皆で自然に参加して行く、それには皆で考えることから始めた方が良いように思われます。

どうか円卓会議なども、気楽にご活用頂きたいと思います。これは、クラブ奉仕関係だけでは限りませんで、四大奉仕部門は勿論のこと、会長でさえも必要な時には申し出下さい。

皆で考え、皆で参加することで、少しでもお役に立てばと願っています。

亀谷君 委員長の微に入り細に亘り、又非常に理路整然とした説明を感心して聞いていた訳ですが、私はいくつかの提案がありましたが、これは全体に一貫しているもので、個々に独立しているものではないと理解します。

それで、先程言われた5分間スピーチですが非常にいいアイデアだと思います。会長、幹事報告を全部誌面にしてしまうのは、ちょっと無理だと思います。現在も本当に最少限度にまとめられて居りますので、あとは出来るだけ時間をさいて5分間卓話をやっていきたい。これはお互の練習にもなりますし、切磋琢磨にもなりますので考えてゆき度いと思います。

次に「クラブの自主性を大切にしよう。組織の力に流されるな」と言うことですが、私も全く同感です。ロータリーも古くなればなる程だんだん大切な心豊かな水がかれてくる訳ですね。そしてぎくしゃくした組織力というものが上からのしかかって来る、そうすると新しく入って来た人々、或は新しいクラブの人々がその組織の力の下で何

も言えない、この様なことでは本当のクラブとしての魅力ある発展はなされないと思います。これはあくまで大和中RCには大和中RCの行方があるんで、やはり本質的には皆さんが意識の中にしっかりもって事を行って行かなければならないと私は思っています。という事は結局社会人としての常識をこのロータリー場で生かせば良い事だと私は考えます。

有沢君 希望の箱のご提言の中には、いくつかプログラム委員の責任に負うところが沢山ある様に思います。ご存知の様に短期間にプログラムを作らなければならないという事情から、一応の予定表を作っているわけです。

今、例会を魅力あるものにするためには、卓話の内容が非常に関連があるわけで、時間の関係もあって皆様から充分ご推せん頂けなかったきらいはありますがプログラムの内容が決って悪いものだとは思って居りません。ただ、これはあくまで予定表ですので、今後もっといい卓話内容があり、皆様が是非お聞きになりたいというものがありましたらこれからでも結構でございますからご推せんをお願いいたします。

一応未定の場所も3カ所程とってありますので皆様のご了解を得ていい話を入れて行き度いと考えています。いずれにしても皆様のご協力が大事でござります。そういったことがこの例会を魅力あるものにしてゆくことにつながるものではないかと思っております。この際会員の皆様のご協力を重ねてお願いいたします。

司会 有難うござりました。5分間卓話が今からはめ込めるものかどうかこの辺は如何でしょうか。いわゆる諸事進行がスムーズに進めば5分位はとれると感じますが他にご発言をお願いします。

富沢君 非常にたくさんいい提案がありますが、これを全て1年間で消化するのは無理だと思います。色々議論しているよりも試金石ということで最後の円卓会議をやってみてはどうかと提案しま

す。

司会 例えば親睦の橋本さん、すでに色々ユニークなご計画もある様ですが、例えば家族会議にしてもその具体的計画について円卓会議で皆さんのお知恵を拝借する。そこで発言された方は、必ず出席すると思います。従って皆さんで考えれば結果として出席率も良くなるだろうと思いますが。

橋本君 先程提案のありました「お祝いの方々に」を1カ月に1回にまとめてやる方法、大変いい方法ではないかと思えます。そして残った時間をもっと有効に使ったら良いと感じています。

又、自主性の問題ですが、ビジターの方々にもこのクラブの自主性をもったものは何かを明示してやりたい、と日頃親睦の立場で感じています。

司会 ありがとうございます。日頃例会をマネージするSAAの方から何か提言がございますか。

土屋君 1カ月に1回「お祝いの方々」をまとめてやる提言ですが、これは大和RCでやった経験があるそうです。その結果は、メリット、デメリットがあってあまり評判が良くなかったということで現在は毎週やっていると聞いています。

それから例会を魅力あるものに出来ないか、という点ですが、現在の例会の魅力が無いということ、これは1人1人の自覚によると思えます。

いつも楽しいと思っている方もあるし、つまらないと感じている方もある、それは個人、個人の反省が必要ではないかと思うんです。

人から与えられる魅力ではなくて、自分から作り出す方向にもってゆくべきではないかと思えます。

次に、画一化の問題ですが、今の世の中一週間が早く感じます。またかという感じを受けられるかも知れませんが、この画一化しているところにロータリーが続いている要素があるのではないのでしょうか。私達は日頃自由に活動しているわけですから週に一度位画一化したものがあるって良いのではないのでしょうか。運営の仕方については、

SAAの方でも今後改革出来るものはしてゆきたい
と思います。

亀谷君 確かに魅力というものは個人個人の気持
の持ち方だと思うんです。ロータリークラブの例
会は1つの機構ですから、これは尊重してゆかな
ければなりません、週に1回卓を囲んでいるわ
けですから、より魅力的にするためには、いろい
ろな発言内容があるので、月に1回例会後に残
れる者が集って円卓会議を開くのも良いのでは
ないでしょうか。

例会はやはりきちんとしたしまりあるものに
しなければならないし、そのあと円卓会議でフレ
ッシュな意見、また古い方々には初心にもどっ
て話し合うことによって1つの糧となり魅力ともなる

と思うんです。

猪熊君 提案ですけれども、先日厚木の中R C
にメークアップに行った時、ここではスマイルは
各自の申告の他にスマイルの委員が情報をとっ
ておき会場で何々さんこんなことがあったそう
ですね、例えばゴルフ会で優勝したとかいった
ことを会場で声をかけてやる、本人もうっかり
していたことなので会場が非常になごやかにな
る。しかもスマイルに結びついてくる。なかな
かいいことだなあと思いました。採用したら
いいんじゃないかと感じました。

司会 今日は貴重なご意見いろいろとありが
とうございました。ぜひ円卓会議の採用を
検討していただきたいと思います。

一口メモ

ウィットに富む歳祝いのすすめ

健康長寿時代とあって、いろいろなところ
で歳祝いが盛んになっている。そのいわれな
どを知っておくと、お祝いを述べる時など
に参考になろう。

普通、歳祝いは60歳の還暦からすることが
多い。還暦は、十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）
と十二支（子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥）とを
かけ合わせて年を数えると、61年目に同じ干
支が現れることから、暦が還（かえ）って
くという意味で名付けられた。本卦がえり
というのと同じ意味だ。

70歳の古稀は、唐代の有名な詩人、杜甫の
「曲江詩」に、「人生70古来稀なり」とある
ことから出たという。歳祝いは10年単位が
原則だが70代では77歳の喜寿がある。喜の
字の略字が77と読めるからで、このような言葉遊

びがあるのも歳祝いの楽しい点。

80歳は傘寿。傘の略字が80だからだ。90歳
は卒寿。卒を省略したのが90だから。白寿は
100から1を引いて白、したがって99歳の祝
い。ちなみに100歳は上寿という。中国では
60歳は下寿、80歳を中寿というが、下とか
中ではめでたさが減じるので、日本流に言
いかえ、上寿だけがそのまま残っているのであ
らう。

108歳になると茶寿。あまり聞きなれない
が、茶の廿は古い字では廿。その下に88あ
るから合わせて108というわけ。なかなか
ユーモアに富んだ表現だ。歳祝いといっ
ても、相手をやたら年より扱いは感心しな
い。算寿の賀の名称のウィット、朗らか
さに学んで、明るく、さわやかな祝
い方を心がけたい。

委員会報告

会計

- 1.一般会計決算報告 直前幹事 辻 国明君
(別紙の通り)
- 2.積立金について 会計 後藤定毅君
5周年は終わりましたが、今度は創立10周年記念のため積立金を今月から月額1000円で始めますのでよろしく願います。

ゴルフ同好会 委員長 上村幹雄君
大和中RC第1回コンペを8月26日厚木国際にて行います。

出席委員会 委員長 中西 功君
うれしいご報告を致します。

1年皆出席 上村幹雄君
上田 勝君

親睦活動委員会 委員長 橋本健彦君
本日のお祝の方々をご紹介します。

誕生日 小島健一君 (7月23日)
松本忠明君 (7月28日)

入会記念日 辻 国明君 (53年7月27日)

スマイルボックス

横浜瀬谷RC 堀 健一会員 久しぶりです。
よろしく。

座間RC 足立亀久夫会員 今年1年間よろしく
お願い申し上げます。

座間RC 山下恵代会員 遅くなりました。昨年中は大変お世話になり心から御礼申し上げます。今後もよろしく願ひ致します。

大和RC 山本壮兵衛会員 久しぶりお世話になります。過日のガーデンパーティーでは皆さん大変お世話になりました。

大和RC 青木一俊会員 本日もお世話になります。

大和RC 牧岡良和会員 久しぶりにお世話になります。

大和RC 加藤恒夫会員 お世話になります。

大和RC 古谷忠治会員 本年度もよろしく。

大和RC 山崎 三郎会員 初めておじゃまします。

大和RC 野口栄三郎会員 本日はお世話になります。

大和RC 田崎市松会員 お世話になります。

大和田園RC 曾根徳次会員 本日はお世話になります。よろしく願ひいたします。

大和田園RC 佐藤敬会員 初めて来ましたよろしく。大和田園RCでは、この24日(日)例会を兼ねた野郎会を大山阿夫利神社社務所前の旅館大谷で、受付は5時半から、会費は1万円です。

大和田園RC 橋本理吉会員 生れたばかりの大和田園クラブから来ました。勿論メイクアップも初めてです。今後共よろしく願ひします。

松本君 48回目の誕生日です。40より立ちっばなしでいささかつかれて居ります。

小島君 お祝いで頂きありがとうございます。これからの人生を楽しく過したいと思っ居ります。

辻 君 入会記念祝って頂きありがとうございます。大型スマイルをもってお応えします。

松崎君 急用のため早退させて頂きます。

合田君 所用のため早退させて頂きます。

上村君 1年皆出席を記念してスマイルさせていただきます。今後共皆様のご指導をお願いいたします。

二見君 年度頭初より2回続けて休みましたので。

杉山君 クラブ会報本年度1号から大失敗致しました。2号以降がんばりますのでよろしく。

上田君 1年皆出席おかげ様でありありがとうございます。中身がともなわず恥かしく思います。